

【特集：北京大学信息管理系との交流提携】

愛知淑徳大学文学部では、さる1998年に北京大学信息管理系（学部）との交流提携を結びました。とくに関わりの深い図書館情報学科では、スタッフや学生の相互訪問や共同研究等の交流を進めております。本誌では、交流の実現および順調な進展を記念し、北京大学スタッフによる講演会を収録させていただくことにしました。（編集委員会）

北京大学信息管理系との交流提携の概要

逸 村 裕

（愛知淑徳大学文学部）

1. 提携の意図

北京大学信息管理系と愛知淑徳大学文学部との間で、教職員および学生のための交流プログラム、科学的・学術的資料の交換、共同プロジェクト等の学術活動を通じて教育文化の交流を図る。

2. 交流提携の調印

1998年9月28日竹村彰祐文学部長代理として長澤雅男副学長が北京大学を訪問し、交流協定書調印式を行なった。

3. 講演会

これまで、1999年1月、および同年6月に北京大学スタッフによる講演会を開催した。

- 1999年1月19日 吳慰慈教授・信息管理系学部長による講演

名称：1998年度図書館情報学会特別講演会

題目：中国における図書館情報学教育の現状

通訳：李 常慶 北京大学信息管理系専任講師（現・助教授）

- 1999年6月29日 頼茂生教授・信息管理系副学部長による講演

名称：1999年度図書館情報学会講演会

題目：中国における情報資源開発の現状とその戦略

通訳：李 常慶 北京大学信息管理系専任講師（現・助教授）

4. 研修旅行

1999年9月13日から5日間の北京図書館実習を実施した。

学部生62名、大学院生4名、教職員3名が参加した。目的は北京大学信息管理系との交流を深めること、海外図書館の例として中国の図書館を見学をすること、北京近郊の名所を見学し中国に関する見聞を深めることの3点であった。

空路名古屋空港から天津空港に入り、北京大学の岳剣波学部長補佐、李国新教授、李常慶助教授の出迎えを受けた。見学先は中国国立国家図書館、北京大学およびその図書館、長澤雅男先生の北京大学客座教授授与式、吳慰慈信息管理系学部長の講演が行なわれた。

北京大学学生との懇親会では教職員学生約70名の熱烈的な歓迎を受けた。双方の学生のお互いの言語によるスピーチから始まり、多くの学生が北京大学学生と主に英語での会話と筆談を行ない交歓した。そこでは多くの事を学び、貴重な体験を積む事ができた。

教職員は別に信息管理系教員と懇談を行なった。

北京の名所見学では、故宮博物院、万里の長城、頤和園等中国の文化やそのスケールの壮大さを体感することができた。

今回の海外図書館実習では、日本国内では得ることのできない貴重な体験をすることができたといえよう。

5. 共同研究

題目は「デジタル情報資源による情報サービスの可能性の研究」というものである。この課題のもとに平成11年度愛知淑徳大学研究助成を受け、共同研究の打合せを行なっている。電子メールのやりとりによりテーマ、調査方法の検討を行ない、1999年6月の頼茂生副学部長、李常慶助教授の来日、また9月の中国図書館実習の際には対面しての折衝を行なっている。2000年3月には愛知淑徳大学側から逸村裕助教授と大学院博士後期課程学生の廣田慈子が北京大学を訪問し、調査の詳細の検討を行なう予定である。